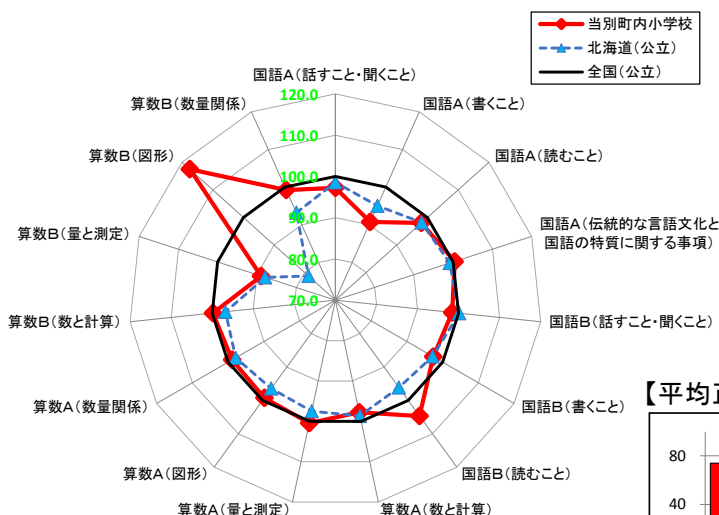


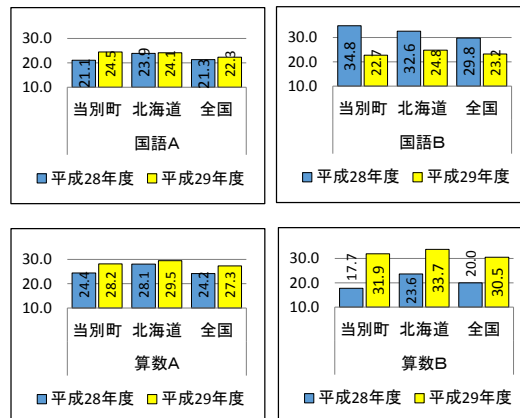
■当別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:110人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

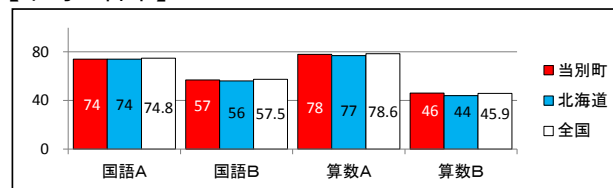


【正答数が全国の下位約25%に含まれる児童の割合】

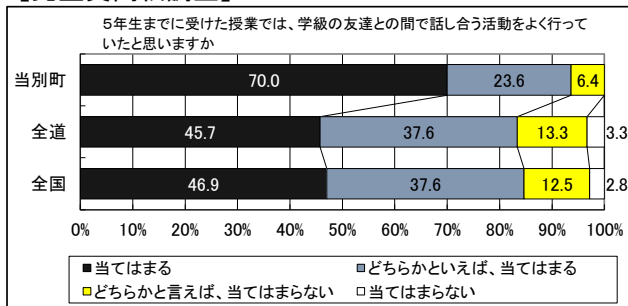


注)全国の下位約25パーセントに含まれる児童の割合を示したグラフ

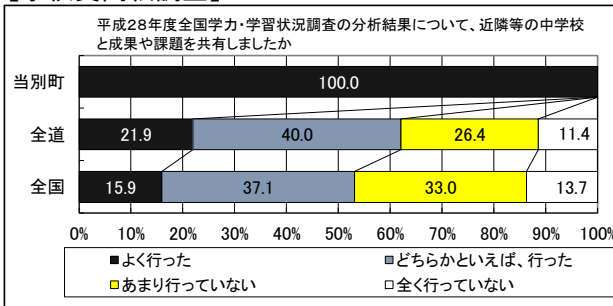
【平均正答率】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」、Bでは、「図形」で全国を上回っている。 ○ 前年度に比べ、4教科中3教科で改善が見られ、全国平均正答率との差が縮まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識・技能を活用して、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞き、自分の考えを発展させたりするなどの言語活動を位置付けたことにより、多くの教科の改善につながったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の分析結果について、同じ校区の中学校と成果や課題を共有したことにより、9年間で育成する児童・生徒像を明らかにすることができ、具体的な改善の取組を推進することにつながったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「平成28年度全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有した」と回答している。 	

【当別町の学力向上策】

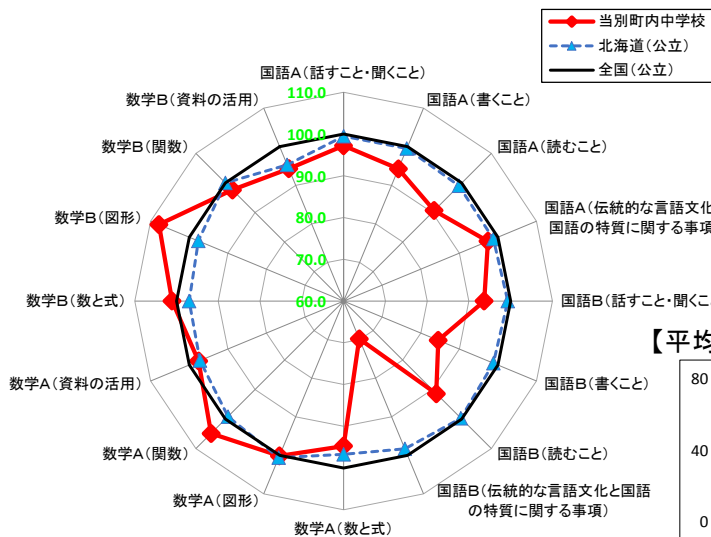
<学力向上の基本方針>

- 教員研修
 - ・ ICT機器の活用研修
 - ・ 一貫教育推進講師による指導(算数・外国語活動等)
 - ・ 各種研修や校内研修への指導助言
- 指導方法の工夫改善
 - ・ T・Tによる指導、習熟度別少人数指導の拡大
 - ・ ICT機器の活用及び高学年へのデジタル教科書の導入
 - ・ 小・中学校間における学習規律の統一化
- 児童への支援
 - ・ 長期休業中の学習サポート
 - ・ 土曜学習、放課後学習の実施
- 一貫教育の推進
 - ・ 小中9年間を見通した教育課程の実施
 - ・ 研究、研修テーマの小中学校間の統一化
 - ・ 小中相互の乗り入れ授業の推進

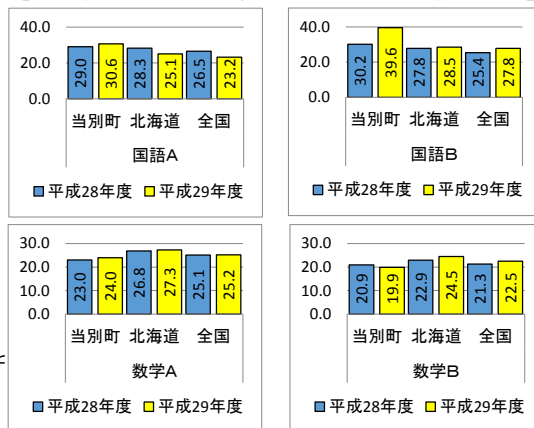
当別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:121人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

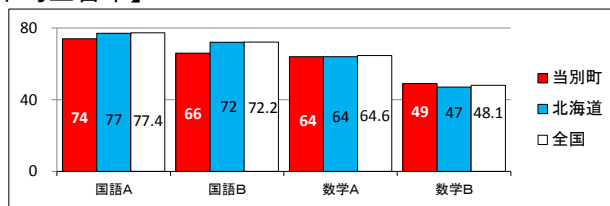


【正答数が全国の下位約25%に含まれる生徒の割合】

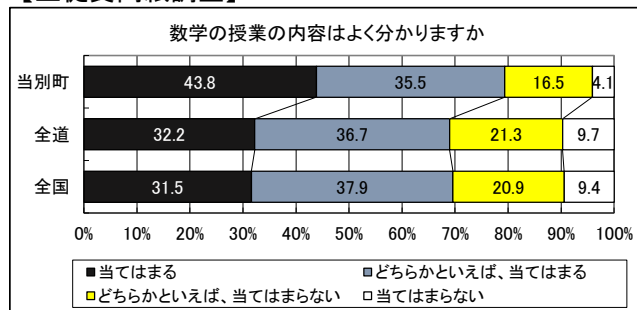


注) 全国の下位約25パーセントに含まれる児童の割合を示したグラフ

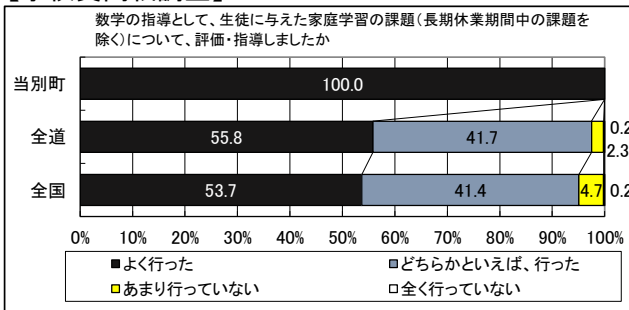
【平均正答率】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学Bにおいて、全国の平均正答率を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」「関数」、Bでは、「数と式」「図形」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導において、習熟度別少数人数指導やT・Tによる指導で、地域人材を活用するなど、複数で授業に関わり、個に応じた指導の充実を図ったことにより、授業がよく分かったと回答した生徒が増えたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導において、家庭学習の課題を生徒に与えるとともに、生徒の家庭での学習状況を把握し、個に応じた指導を進めたことにより、知識・技能を活用して問題を解決する力が高まったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導した」と回答している。 	

【当別町の学力向上策】

<学力向上の基本方針>

- 教員研修
 - ・ ICT機器の活用研修
 - ・ 一貫教育推進講師による指導
 - ・ 各種研修や校内研修への指導助言
- 指導方法の工夫改善
 - ・ T・Tによる指導、習熟度別少数人数指導の拡大
 - ・ ICT機器の活用
 - ・ 学校独自の放課後講習、放課後指導
 - ・ 小中学校間における学習規律の統一化
- 生徒への支援
 - ・ 長期休業中の学習サポート
 - ・ 土曜学習、放課後学習の実施
- 一貫教育の推進
 - ・ 小中9年間を見通した教育課程の実施
 - ・ 研究、研修テーマの小中学校間の統一化
 - ・ 小中相互の乗り入れ授業の推進